

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームふきのとう 第1ユニット	評価実施年月日
		平成21年8月31日
評価実施構成員氏名	今野 邦子(計画作成担当者・管理者) 吉原 ひさよ(パートナー)	
記録者氏名	今野 邦子	記録年月日
		平成21年8月31日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	事業所独自の理念を作り、ユニットに掲示し、職員が理解している	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念を壁に掲げ、理念が取り組まれている。支援計画を意識したケアに取り組んでいる	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	理念を基礎にケアプランを立て、ケアプランを作成している。家族の方にも理解して頂いている。運営推進委員会で地域の方に理解して頂いている	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	夏祭り等で近所の方に声をかけ参加していただき、交流を図っている。近くの公園などで遊んでいる方々に声掛をしている	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	近くの小中学校の文化祭などに積極的に参加している	
6	○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	2ヶ月に1回、運営推進委員会を通じて認知症の知識を伝える事が地域の高齢者の暮らしに役立つように努めている	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	職員一同、自己評価をすることでより良いケアをしていけると理解し取り組んでいる	
8	○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進委員会で業務経過を報告したり意見交換を行っている	
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	自己・外部評価を市に提出し、運営指導を受けサービスの質の向上を図っている	
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	社内研修や、外部研修で理解を深めている。成年後見制度については介護支援専門員が対応に当たっている	
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	ユニットミーティングや勉強会などで高齢者虐待防止がいかなるものかを理解し、取り組んでいる	
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	家族の不安、疑問等が起こらないように入居時に十分な説明を行い理解していただいた上で契約している	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情等寄せられた場合は、真摯に受け止め繰り返す事のないよう、職員全員が再発防止に取り組んでいる		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	月1回のふさのとう通信で日々の生活の状況を報告している。家族の来訪時は都度、情報を伝えている		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の方に何でも言って頂ける様な雰囲気作りに職員一丸となって努力している。訴えてこられた時は真摯に受け止め、解決に努力している		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ユニットにてカンファレンスを毎年行い常時意見交換を行い話し合いの場を設けている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	ユニット内で必要な話し合いを設け調整を行っている	○	状況の変化に伴いその都度話し合いの時間を増し、もっと利用者様の要望に応じていきたい
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	離職や新人職員が入る場合は入居者さんが不穏となる事がないよう、他の職員が補助となり配慮している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	多くの職員が外部・内部研修に参加できるように計画を立てている。研修参加後は研修報告を行っている		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	小樽市のグループホーム連絡協議会に参加し、勉強会情報交換などを行っている。情報交換などで交流を図りながらサービスの質の向上に取り組んでいる		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	福利厚生の一環として、スポーツクラブの利用や各ユニット毎での懇親会などを開き、少しでもストレスが軽減されるように取り組んでいる		
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	資格取得に意欲的に向かえるような声掛けを行っている		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前にケアマネージャーが訪問面接し、説明を行って行くことで不安などを解消していただくよう努めている		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前に何度か訪問し、面談を行い家族の不安や心配等をよく聞く機会を設け安心して入居していただけるよう努めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	十分なアセスメントで日常生活動作の低下を防ぎながら安心して生活できるように援助計画を作成している		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	利用者の表情を観察しながら、他の利用者や環境に徐々に溶け込めるようなサービスをしている。環境の急変を避けるためにも出来るだけ来訪の機会を増やす等、ご家族に協力をして頂いている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	個々の生活歴や特技を把握し、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、楽しい時間を過ごせるよう工夫している		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	行事を行う時は案内を出し、一緒に参加する機会を設けている。又、ふきのとう通信を通し、日々の状況を伝え信頼関係を築きながら対応している		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	状況、状態を把握し、家族の来訪時にはお伝えしている。廊下に行事などの写真、季節の壁飾りなどで日々の様子を喜んでいただいている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	家族が来訪された時は、居室でゆっくり過ごしていただくように、対応している。ADLが低下している方で外出が困難な方もいるが閉じこもり傾向にならないよう、少人数でもドライブなどに出掛け、小樽の景色等を楽しんでいる	○	支援が難しいと思われる方にも工夫して行きたいと思う

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	共同生活の意義を説明し、支え合う事が出来るよう努めている。リハビリ体操、ゲーム、音楽鑑賞等で、コミュニケーションがとれるよう配慮している	○	共同生活を理解していただける様、職員が常にかかわりを持ち、楽しい時間を共有していただけるよう努力して行きたい
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退居後の利用者様宛に、お便りを出すなど、断ち切る事のないよう、努力している。運営推進会議の委員会の中に退居された家族の方が参加してくださっている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話など、コミュニケーションなどで希望や意向の把握に努めている。ご家族にも情報の収集を図っている		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時のフェイスシートや家族、ケアマネージャー等と情報収集を図り把握できるよう努めている。家族来訪時に状況に応じ、情報収集に努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	毎日の健康状況を把握し、様子を見ながらできる部分でのお手伝いにも参加していただいている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	身体状況が変わる度、職員全員でカンファレンスやアセスメントを行い、計画の変更を行っている。又、利用者の要望を反映した計画を作成している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	状態が変化するたびに見直しを行い介護計画の作成をしている。又、半期に一度のモニタリングを行っている		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	1ヶ月の食事量、水分摂取量、バイタル、排泄の有無、体調の変化などが全員が分かるよう記録している。申し送りノートの記録で情報を共有している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	通院介助、理美容室への外出等、希望に応じ柔軟に対応している。負担となる方には外来受診を回避し、訪問診療で対応している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	近隣の小中学校で催している学校祭等の招待を受けている。又、消防等による防火訓練に参加している		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	ケアマネ連絡協議会に参加し、他事業所との情報交換を行っている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議で地域包括支援センターの方に参加していただき業務経過報告をしたり、意見の交換を行い、書類にて回覧している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	訪問診療での往診、又はケアマネージャーがかかりつけの病院に同行、家族と連絡を取りながら情報を提供し、納得していただけるよう努力している		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	専門医師に相談し、家族と連絡を取り必要に応じ受診を行い、服薬し、状態を報告し薬の調整、治療ができるよう支援している		
45	○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	事業所内の看護職員と介護者が常に情報提供し、支援している		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	介護支援専門員等職員が医療機関との情報交換を行い、早期退院にむけ常に情報交換を行っている。又、面会し、状況の把握に努めている		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ターミナルケアについては、勉強会を行い状況の把握に努めている。医師、訪問看護師、介護職員、家族と連携を図り、重度化した場合の対応、体制を整えている		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	その都度、家族に連絡をし、終末期はどのように過ごすか、かかりつけ医、看護師と連携をとり、今後に備えて検討や準備を行っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49	<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	別の居宅に移り住む際に家族との十分な話し合いや情報交換を行い、ダメージを防ぐよう努めている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	利用者様、一人一人の尊厳を保てるような声掛けを職員全員が心掛けている		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	本人が自己決定できる様な声掛けを行い、表情の変化も見逃す事がない様なケアを心掛けている		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	一人一人のペースに合わせて、ゆとりのあるケアを心掛けて支援している		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	本人の希望に応じ、馴染みの美容室に行っていただくように配慮している。外出困難な方々には訪問美容にて対応している		
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	一人一人の食事の形態を把握し、食べやすいように刻みやお粥を取り入れ、そばで見守りをし、会話等楽しみながら食事をしている。食器拭き等、出来る部分で参加していただいている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	珈琲好きの方にはいつでも飲んでいただけるよう、用意している。一人一人の嗜好を把握し、おやつ時に工夫し提供している		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄パターンを把握し、その都度声掛けで気持ちよく排泄できるよう、対応している。皮膚の状態、排便状況も把握し、プライバシーを守り、カレンダーにそっと付ける等、配慮をして主治医との連携をとり排便のコントロールに努めている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	午後からの対応を行っているが、入浴拒否があった場合無理せず、時間や日にちを変えて再度声掛けをして納得して気持ちよく入っていただいている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中はリビングのソファなど利用し、寛いでいただいている。眠れないと訴えがある事もあるが日中、散歩やリビング体操など工夫している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	残存能力を維持できるよう、食器洗い、食器拭き、洗濯たたみなどを楽しんで行っていただけるよう、声掛けの工夫をし、お願いしている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物ツアーに出かけた際には支払の出来る方にはご自分で支払っていただき、見守り支援を行っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	散歩、外出の要望があった場合はその都度対応している。天気の良い日は声掛けし、近隣の公園などへ出かけるようにしている。歩行困難な方には車椅子で対応している		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	家族の協力を頂き、外食、外出、旅行など、行えている。外出時は車に乗り込むまで、見送りや見守りの配慮を心掛けている		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	小包等が届いた場合は送っていただいた方に、本人からの電話を掛けられるよう、声掛けし、気持ちを伝えられるよう、支援を行っている。手紙は読んで聞いていただいている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族が来訪された時は自室にて御茶や珈琲を出し、楽しく過ぎて頂ける様、工夫している。友人、知人等も家族の了解を頂き自室で対談できるような配慮を行っている		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の意義を熟知できるよう、研修に参加したりカンファレンスを聞いたりしながら、身体拘束のないケアに取り組んでいる		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜間8時から翌朝6時半以外は施錠していない。ドアチャイムを設置し、出入りの確認をしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	全員の状況を把握し、一人一人にあったケアを心掛けている。夜間は2時間毎、場合によっては1時間置きの見回りで安否確認と安全に配慮し、入眠の妨げにならないよう、努めている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬や包丁等管理が必要なものには施錠保管を行い、それ以外の物には状況に応じて移動し、危険のない様に対応している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	誤薬などの事故をなくする為、服薬時、名前、日付を職員同士で読み上げ確認している。又、誤嚥等がないよう、食事状況を見て刻み食などで対応している。転倒等の事故が無いように予防策のカンファレンスを定期的に行っている		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	事故発生時のマニュアルを作成し、特変時の対応に備えており、職員全員が意識を持ってケアを行っている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	職員全員が消火器の使用方法について訓練を受けている。避難経路も常に目の届く位置に貼るなど対応している		
72	○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	入居時の契約の際、リスクについてご家族の理解をしていただいた上でケアに当たっている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日のバイタルチェック、顔色や表情の変化に注意をし、細やかな観察を行って異変の発見に努めている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	細心の注意をし、処方箋をファイルに保管、職員が把握できるようにしている。又、服薬チェック表を作成、管理を行い通院時には状況を提供している		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	毎日のヨーグルト摂取、リハビリ体操などで身体を動かす事で腸の活性をよくして頂き、便秘のないよう、工夫し全員の排便リズムを把握している		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	朝、夕の口腔ケアを見守りのもと、出来ない部分での支援を行い義歯の紛失、洗剤の異食を防ぐ為、管理は職員が行っている		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食、食事量、水分量を個人記録ノートに記入し足りない入居者さんには声掛けで飲んでいただけるように工夫し対応している		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	年1回入居者様を始め、職員全員がインフルエンザの予防接種を受け、手洗い時の手拭きタオルはペーパータオルを使用、マスクの着用等で感染予防に努めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>冷蔵庫内の掃除、フキンの漂白は毎日行い、保管の食材などは日付を記入している。冷蔵庫掃除表を見えやすいところに貼り、チェックを行っている</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>建物周辺にベンチを設置、誰でも気軽に休んでいただけるよう工夫している。玄関先にはプランターの花壇を置き、季節感を楽しんでもらっている</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>イベントの時の記念写真を工夫をして張り出している。四季折々の壁飾りなども入居者様と作成して楽しんでもらっている</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>時々、椅子などを動かし会話を楽しんでもらう場所を工夫している</p>		
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家具など馴染みの物を用意していただけるよう、家族と話し合い、写真や好みの物を置いて穏やかに暮らしていけるよう心掛けている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>窓を開ける等の換気を利用者様の状態に応じて行っている。除湿器や加湿器等もおいて対応している</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	入居者様のADLの低下に合わせ、廊下やトイレ入り口などに手摺りを設置、安全確保への配慮に努めている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	残存能力を見極め、その人にあった介助、支援を心掛けている		
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	建物の外回りにベンチ等を置き、いつでも休んで頂けるよう配慮している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
V. サービスの成果に関する項目				
項目		取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない		
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="checkbox"/> ①毎日ある <input checked="" type="checkbox"/> ②数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> ③たまにある <input type="checkbox"/> ④ほとんどない		
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 <input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない		
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 <input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない		
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 <input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない		
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない		
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない		
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族 <input checked="" type="checkbox"/> ②家族の2/3くらい <input type="checkbox"/> ③家族の1/3くらい <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない 		
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない 		
98	職員は、生き生きと働けている	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない 		
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 		
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない 		

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

入居者様のご家族から家庭的なユニットですとお言葉を頂き、パートナー全員が嬉しさを受け止めております。今後も入居者様、ご家族に満足頂けるよう、スタッフ全員、努力して行こうと団結しております。